

東京キモノショー 2026

実施企画書

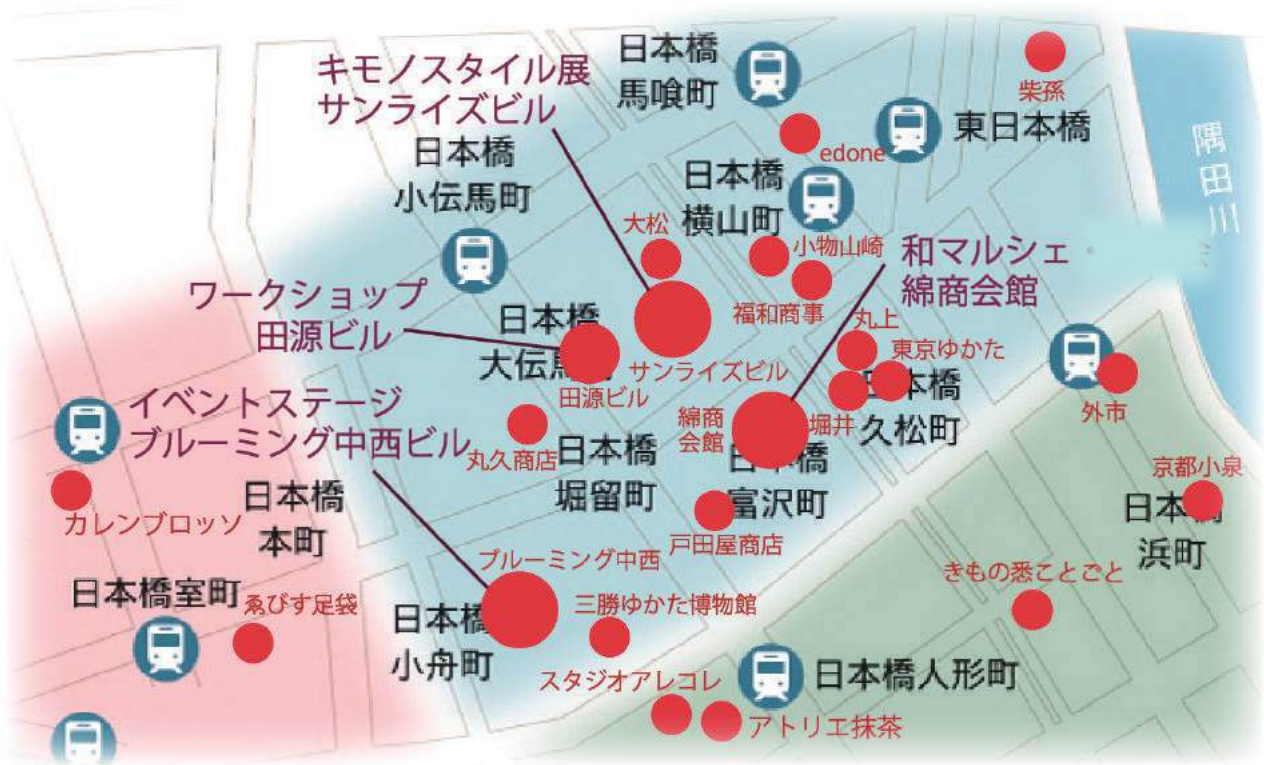


東京キモノショー 2026 <https://tokyokimonoshow.com/>

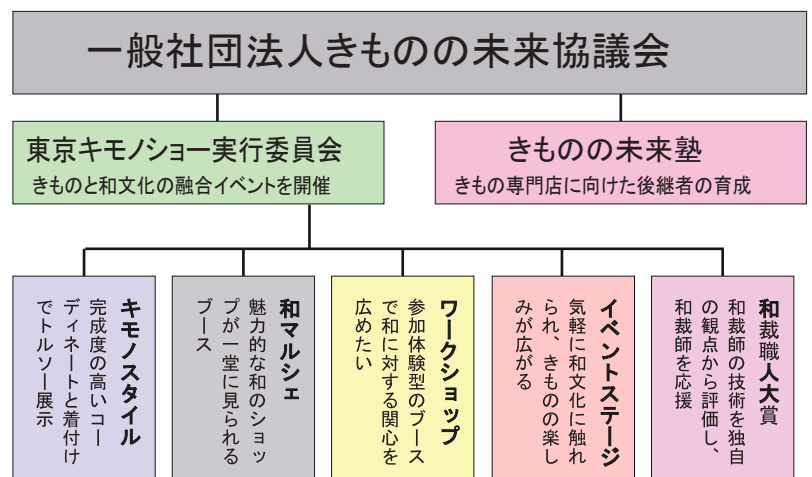
- 日程：2026年4月17日(金)～19日(日)
- 会場：サンライズビル・綿商会館・田源ビル他、日本橋人形町界限にて実施
- 主催：東京キモノショー 2026 実行委員会・一般社団法人きものの未来協議会

今回も日本橋人形町界隈の街を舞台にして開催します。

一般社団法人 きものの未来協議会 代表理事
東京キモノショー 2026 実行委員長 中野光太郎



東京キモノショー 2019 会場風景



東京キモノショー、これまでの実績

2015 年開催「わーと日本橋」 9 日間開催 来場者数 9874 名

きものと、竹あかり CHIKAKEN とのコラボレーション。きものをドラマティックに演出



2017 年開催「東京キモノショー」 9 日間開催 来場者数 14551 名

きものと、池坊をはじめとする和文化とのセッション。和事のステージがスタート！



2018 年開催「東京キモノショー」 5 日間開催 来場者数 10176 名

和ごとのステージを会場中央に配置。誰でも気軽に和ごとが楽しめるようプログラムも充実



2019 年開催「東京キモノショー」 5 日間開催 来場者数 11180 名

ステージが本格的なランウェイに進化！ 東京キモノショーの名前にふさわしく、華やかに開催。



2022 年開催「東京キモノショー」 2 日間開催 来場者数 8293 名

コロナかでの 3 年ぶりの再開。会場をコレドから日本橋人形町へ移しての複数会場にての街開催。



2023 年開催「東京キモノショー」 3 日間開催 来場者数 9445 名

開催時期を 3 月に移しての開催。メインビジュアルの刷新で、ネオ昭和レトロをテーマに開催



2024 年3月開催「東京キモノショー」 3日間開催 来場者数 15083名

大河ドラマのテーマにあわせて、装束を深くとりあげて開催。過去最大の入場者数を記録



希望者には別会場にて十二単衣の着装体験なども実施。



大人振袖を新たなムーブメントとして提案

東京注染の紹介と実演コーナー

経済産業省大臣の視察



期間中、日替わりの流派のお茶会を実施

黒留袖、黒紋付の新しい着方を提唱

感性溢れる学生デザインのきもの展示

2025年4月開催「東京キモノショー」3日間開催 来場人数14968名

台湾デザイナーとのコラボ展示が話題に。インバウンドの来場も増え、海外にも目を向けて開催



人形作家ホリヒロシさんの作品



和の習い事への入口を提案

キモノスタイル展（サンライズビル）

今回も、きものの変遷を楽しめるように、時間軸に沿って展示。
—きものミュージアム— 2026テーマ「引き継がれるキモノ」

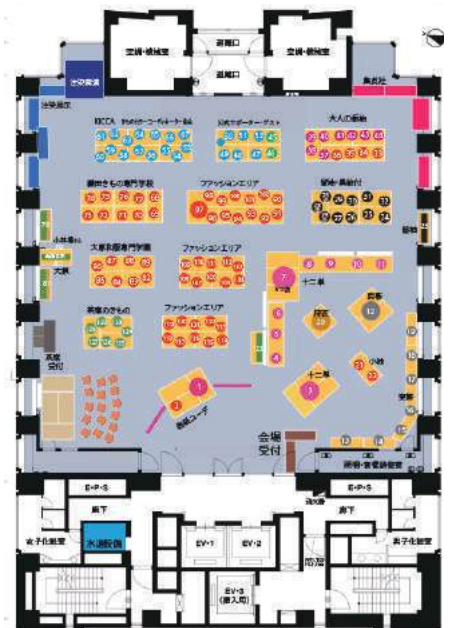


サンライズビル2階グリーンホール全景

キモノスタイル展は、東京キモノショーのメインコンテンツ！
サンライズビル2階のグリーンホール全体に展開します。キモノスタイル展では今回、2つのテーマを掲げて、時間軸で追うきものストーリー性と、洋服と共存するきものファッション性を、ミュージアムのイメージで構成します。「きものへの想い」というテーマで一般から和歌の募集も行います。きものを取り巻く時代の変化の中で、過去も現代も包括して、未来の可能性に向けて、きもの素晴らしさを伝えていきます。工芸的な価値、美術的な価値、思い出としての価値、あらたな表現への挑戦、華やかさ、前衛、きもの持つチカラを信じて。

VRでの東京キモノショーも開催

今回、新しい試みとして、キモノショーにお越しいただけない方にも楽しんでいただきたいという目的で、3D-VRによるweb上での展示空間を設営し、オリジナルコンテンツを加え、後日一般公開します。



キモノスタイル 開催時のレイアウト

ステージ（ブルーミング中西ビル）

キモノショーならではの臨場感あふれるステージ

東京キモノショーのもう一つの特徴としては、本格的なステージが、入場券をお持ちの方は追加費用なく楽しめるということです。今回もメゾンによる新作発表やお客様参加のステージ、和の芸能、ゲストトークショーなど、それぞれ個性あふれるステージが12枠展開されます。



動画配信

ステージの様子はプロのスタッフが撮影して、YouTubeで動画配信します。ステージをご覧になれなかった方や、遠方でご来場いただけなかった方にも東京キモノショーのステージをご覧いただきたいとともに、東京キモノショーのコンテンツとしていつでも動画で振り返ることができます。



ワークショップ（丸上別館）

参加型のワークショップも充実。

東京キモノショーでは、きものや和文化の入り口としてワークショップなどの体験も実施しています。小物作りだけでなく、採寸やカラー診断など、幅広いメニューを予定しています。2026年は、ワークショップや和ごとの紹介を、人形町界隈の街の中へも広げていこうという試みです。街そのものが、和ごとの入り口になって、和文化への興味が広がることも期待しています。



和裁職人大賞入選作展示(大松ビル)

和裁師の仕事を 「着やすさ」の視点から評価します。

東京キモノショーでは、今回も、着る人の立場に立った着やすい仕立てを評価する「和裁職人大賞」を実施します。優秀作は会場内に展示するとともに、会期中に表彰式も予定しています。<https://tokyokimonoshow.com/wasai/>



和マルシェ（大松ビル・田源ビル・中西ビル）

人気の小物ブランドや各地の作家さん約90社が出展します。

今回は、和マルシェの会場を大松ビルを含む複数の会場にて分散して開催します。各種実演などの体験、各産地の生産者さんや作家さんと直接にコミュニケーションできるのも魅力です。キモノスタイル展に出展している作家さんやステージに出展しているブランドのブース出展もありますので、作品についてより深く知ることができます。



東京キモノショー公式ガイドブックの発行 発行部数 4 万冊

ガイドブックを事前配布。来場前から期待感が膨らみます。

東京キモノショーの開催前に（A5 判）44 ページ構成を発行します。

出展者の紹介、会場 INDEX、さらに東京キモノショーの見どころ、キモノショーアンバサダーインタビュー、サテライト会場の巡り方などを特集！ 当日の来場者への配布だけでなく事前配布もすることで期待感を煽ります。



東京キモノショー公式ガイドブック PDF 版

ガイドブックをウェブサイトにも公開。

東京キモノショーのコンテンツの一つとしても定着した公式ガイドブック。印刷版と同じ構成で掲載されますので、ガイドブック広告もそのまま掲載されます。PDF 版は次のガイドブックが発行になるまでほぼ一年間にわたり掲載されますので、広告効果も期待できます。

オリジナルグッズ展開など

2022 年より来場者全員にチケットと引き換えにオリジナルパスを配布。入場パスとして大好評でした。2022 年はトートバッグを製作。2023 年と 2024 年はオリジナルハンカチを製作。また、前回たいへんに好評だった、オリジナルノルティを製作しています。キモノショー来場の記念に、また新たな東京キモノショーの楽しみとして、企画を進めています。



出展をお考えの皆様におねがい エスコートスタッフ大募集

東京キモノショーでは、きものを盛り上げたいホスピタリティ溢れる情熱のある皆さんに様々なポジションのお手伝いをお願いしています。きものが大好きでなにかと関わりたい、きものを楽しみ合う仲間が欲しい、動機は何でもけっこうです。そのような方を是非ご紹介ください。特に平日である金曜日が手薄になります、ご協力をお願いいたします。ご協力頂ける場合は、東京キモノショー事務局までメールでお知らせください。

街がランウェイになる！ 街への広がり

メイン会場以外に、サテライト会場を展開します。

東京キモノショーの楽しみを、会場内だけでなく、日本橋人形町の街へ広がります。日本橋人形町界隈は織物問屋さんが並ぶ問屋街です。中にはショールーム的に一般の方の来場を歓迎しているところもあり、今回はそういったいくつかの会場とも連携して、期間中、和ごとの体験をはじめ様々なイベントが開催されます。まさに、「街がランウェイになる」という仕掛けです。



日本橋きものパスポートとの連携

日本橋をきもので楽しみながら、飲食店などで特典が受けられます。



「日本橋きものパスポート」は、「日本橋」と「きもの」を楽しんでいただくための企画。TAFS（東京織物卸商業組合）和装振興プロジェクトが主催で2021年春からスタートしています。きものをお召しになり、本パスポートを協力店や施設でご提示いただくと、割引や特典など、お得でうれしいサービスが受けられます。今回の東京キモノショー2026の開催にあわせて、人形町や堀留町の界隈まで範囲を拡大してサービスを展開します。

<https://kimono-pass.tokyo/>



地域との取り組み

地域団体との連携イベントを開催

付近には甘酒横丁など、きもので散策するのにぴったりの商店街もあります。また、ギャラリーや店舗とのタイアップを図り、街の活性化にもつなげていきます。着物や和文化と関連した外部イベントとの連携やなども積極的によびかけて、全体としての広がりをはかっていきます。



東京キモノショーの共催団体、一般社団法人「きものの未来協議会」は、ひとりでも多くの方にきものの素晴らしさを伝え、きものを中心とする和文化の発展をめざしています。キモノショー以外にも積極的に活動を展開、社会へ少しでも貢献すべく、二つの柱で活動しています。

■東京キモノショー

2015年、2017年、2018年、2019年と日本橋 COREDO 三井ホールで開催した和文化イベント。恒例となったトルソースタイルのコーディネート展示は、そのクオリティと多彩さから東京キモノショーの顔であり象徴です。本格的なステージイベント、生産者の顔が見える和マルシェ、ワークショップ、和裁師を応援する和裁職人大賞、和ごととのコラボなど、これからの和文化をけん引できるイベントを目指しています。2022年より会場を日本橋人形町界限に移し、複数会場にて街への広がりを生み出しています。

■きものの未来塾

共に「教え」共に「学ぶ」きものの未来塾。着る人に信頼される呉服専門店作りを目指すプロのための勉強会です。志を同じくする人達との交流ネットワークはきものの未来塾で得られる大きな財産です。



きものの未来塾 講義風景

代表者紹介



■代表 中野光太郎（花想容：東京都文京区） 東京キモノショー 実行委員長
カフェを併設した着物店を2006～2018年に展開。同時に長野県を拠点に染色作家としても活動しており、全国の専門店を通じて作品展を開催。自身の展示会や各種イベントで、光を使ったアート作品なども発表している。自身の想いを実現する場所として東京キモノショーの前身である「わーと日本橋」を主宰。現在に至る。東京キモノショーでは総合プロデュースのほか、ファッションショーはじめ空間演出などを担当。



■副代表 高橋和江（たかはしきもの工房：宮城県気仙沼） きものの未来塾 塾長
20代から実家の京染悉皆店を継ぎ和装の世界に入る。30代で、売るのではなく「着てもらう」ことを重視したいと和装肌着事業へ参入。お客様の声に応える商品を多数開発し、自らの手で直接販売する手法を確立。震災で店舗が被災するも復興。2021年3月には気仙沼に新社屋が完成。東京キモノショーでは「東京のキモノ熱を全国へ！」という想いで、メンバーを牽引。著書に「きものの不安をスッキリ解決！」（河出書房新社）ほか多数。

■東京キモノショー 2026 実行委員会

実行委員長 / 中野光太郎 副実行委員長 / 高橋和江

実行委員 / 大原加容子 / 岡本英子 / 上条依子 / 木越まり / 齋藤 香 / 上達 功 / 須田久美子 / 川村丹美 / 高橋洋行 / 田中源一郎 / 錦織美枝子 / 花岡隆三 / 藤井浩一 / 細野美也子 / 細野純一 / つくも

東京キモノショーについてのお問い合わせ先

東京都中央区日本橋富沢町6-5 アソルティ人形町3階 一般社団法人きものの未来協議会
Tel : 03(6264)9307 / Fax : 03(6264)9308 / Email : info@tokyokimonoshow.com